



理 念

高齢期の方々の尊厳を踏まえ、こころ温まる医療の提供と地域から愛される病院を目指します。

基本方針

- ① 認知症疾患の特性を踏まえ、個別性の高い医療と温かみのある療養の提供
- ② 認知症に関する介護教育と啓発活動の充実
- ③ 地域の医療・保健・福祉との一層の連携と協働
- ④ 働きがいのある職場づくり
- ⑤ 職員一人ひとりが自覚し、健全な病院運営への努力

患者様の権利に関する宣言

- ① 良質な医療を平等に受ける権利
- ② 選択および自己決定する権利
- ③ 意識のない患者様および法的能力のない患者様の権利
- ④ 十分な説明を受ける権利
- ⑤ 個人情報およびプライバシーを保護される権利
- ⑥ 個人の尊厳を守る権利
- ⑦ 通信・面会を自由に行う権利

INDEX

- 表紙** 福井の名所探訪③
かずら橋(池田町)
- P2** すこやか講座
「脳の健康」
- P3** 家族は今
「地域の中の家族」
- P4** THE病棟
すこやか祭
- P5** デイ・ケアだより
- P6** トピックス
「臨床栄養こんだてじまん」への掲載
外来医師診療体制
- P7** 平成30年度
患者家族満足度調査
- P8** 2019年度研修案内
(一般・専門職研修) 6～8月



すこやか講座



脳の健康



脳の老化というと、記憶力が気になる方が多いかもしれません。しかし、暮らしの中で重要なナギを握っているのは、実は“脳の注意機能”です。歳を重ねるとともに増えてくる“うっかり”や“ぼんやり”には、脳の注意機能の低下が関係しています。そうすると、日々の重要な情報に気付くスピードが遅くなり、生活に様々な支障を生じる心配が出てきます。そこで、いつまでも自立した生活を送るため、いくつになっても大切な、脳の注意機能を維持するヒントをお届けします。

脳の注意機能は、脳の司令塔といわれる前頭葉の大切な役割であることが最近の研究で分かっています。脳の注意機能がうまく働かなくなると、“うっかり”や“ぼんやり”が増える心配がありますが、怖いのは、それが健康寿命を縮めてしまう引き金になりかねないことです。もし、つまずいて転倒、骨折し、横になっている時間が長くなると、全身の筋力や体力が低下します。結果、自立した生活が難しくなり、QOL（生活の質）の低下につながる危険があります。また、注意機能は、脳の中枢で思考や行動を組み立てる多くの働きと密接に関わっており、脳に情報が入るスピードが落ちてくれば、脳の様々な働きも遅くなってしまいます。日常生活への影響は思っている以上に大きく、注意機能の低下は脳の衰えの始まりと考えることもできるでしょう。普段あまり意識することはありませんが、私たちが日常の小さな変化に気付いたり、楽しい発見に心を揺り動かされたりするのは、脳の注意機能がきちんと働いている証しです。また、自立した生活の維持や日々の暮らしの安全も、危険な状況を瞬時に察知できる注意機能によって支えられているわけです。

脳の注意機能維持のために大切な3つのこと

- ① **栄養**…年齢を重ねるとともに食事量が減りがちになるため低栄養になる心配があります。特に注意したいのが肉類や脂質の不足です。バランスよくいろんな食品を摂取するように心がけましょう。
- ② **好奇心**…何にでも関心を持ち、季節や日常の小さな変化に意識を向ける習慣をつけましょう。身の回りの“気づきと発見”が楽しくなるでしょう。
- ③ **運動**…体を動かすと脳の神経細胞の働きが活発になり、脳の血流も良くなります。ウォーキングでも体操でも、毎日楽しめることを続けていきましょう。

家族は今…

「地域の中の家族」

Y・Y

夫婦二人暮らしになって30年余り。夫は7年前に脳梗塞、胃がん、直腸がんを患いました。済生会病院での手術後、退院に向けての話し合いの中で、『在宅で看取ります。』という希望を表明して、地域連携パスでかかりつけ医での継続した治療を受けることになりました。介護保険を申請して『要介護4』という認定を受けて、小規模多機能型のサービスを利用しながら暮らし、申請にて身体障害者手帳も取得しました。

在宅へ戻り、地域社会で看取ることの難しさを、当事者になって気付きました。まず、緊急のときに駆けつけてくれるドクターがいない。正月の午前1時に痛がる夫を、車椅子にさせ、そこからまた自家用車に乗せるまでが初めてのことで、震えていました。幸い、ことなきを得て自宅に戻ることができました。

しかし、昨年6月頃から、带状疱疹をきっかけとして、一人になると「お母さん」と連呼するようになりました。自宅にいる時は、横にいれば呼ばないのですが、離れると呼ぶ状態になり…施設では他の利用者の方の迷惑になり…本当に途方にくれていましたが、12月5日にすこやかシルバー病院に入院させていただくことになりました。適切な治療を受けさせてもらえるよう手配して下さった貴院の地域連携室の迅速な対応に心から感謝しています。それと共に、在宅で安心して暮らせる医療・福祉・保健の密接な連携のシステムの構築が、今とても大事な時期にきていると痛切に感じています。

病院内で、「自宅ではみられないので特別養護老人ホームに予約したが、3年は入れないと言われた。」と他の家族の人が話していました。なおいっそう、病院と施設、在宅間の垣根が取り払われ、一体的に利用ができればいいと心から思います。ありがとうございました。



The 病棟



すこやか祭

4月11日に、すこやか祭が開催されました。ボランティアグループの「微風」さんが、歌や踊り、楽器演奏を披露しに来てくれました。患者様達は、「北国の春」や「岸壁の母」などの曲に合わせて一緒に歌ったり手拍子をしたりと、楽しいひと時を過ごしました。

二胡の演奏♪



素敵な音色でした

「いい湯だな」に合わせて皆で踊りました



た～のしいなっ☆

テラスに出ると、
桜が満開でした。

当日のお昼は
お花見弁当でした。
患者様にも、
大好評でした。



桜が咲いたねえ。
天気もいいし、
気持ちいいねえ。

楽しいひと時を、ありがとうございました。

デイ・ケアだより



〈講習会〉

福井南警察署の方に来ていただき、講習会を開催しました。

①交通安全講習会

免許証返納や交通事故防止について、寸劇を交えながら説明していただきました。

②特殊詐欺防犯講習会

最近の新手の特殊詐欺について詳しく教えていただきました。

講習を聴きながら、「私はこうしてるのよ」等、普段気をつけていることをお話される利用者の方もいました。安心して生活していくために、一人一人が気をつけていきましょうね。



あぶない!

何かあったらまず
若いものに
聞かなあかんね。



〈おやつ作り〉

役割分担をして、ワッフル・ゼリー・カナッペを作りました。材料が足りなくならないように話し合いながら飾り付けをしたり、疲れないように交替で作業したりと、和気あいあいと協力しながら取り組んでいました。

おやつはお喋りしながら美味しくいただきました☆



〈メイクアップ会〉

女性の利用者の方にメイクアップの行事をしました。お化粧には、外見を美しくするだけでなく、前向きな気持ちをもたらすなどの効果があると言われています。普段お化粧している人もそうでない人も、皆できれいに变身！普段とは違うメイクにチャレンジしたり、スタッフがスタイリストになったり、お互いに声をかけあってお化粧する人など、皆さん楽しめました。家に帰った際にご主人から「きれいになった」と褒められる方も。きれいになると、気持ちも明るくなりますね。



トピックス

当院の食事が専門誌に掲載されました！



北陸3県において、今回3年ぶりの「こんだてじまん」の掲載となります

2019年4月より外来医師の診療体制が下記のとおりとなりました。

外来医師診療体制 (2019年4月1日～)



	医師	伊藤 達彦	村田 憲治	福島 慎二	濱野 忠則	三崎 真寛
月曜日	午前		再 診			
	午後		初 診			
火曜日	午前	初診・再診		初診・再診		
	午後	再 診				
水曜日	午前	再 診	初診・再診		初診・再診	初診・再診
	午後		再 診			
木曜日	午前	再 診	再 診			
	午後					
金曜日	午前	再 診	初 診			
	午後		再 診			

平成30年度 満足度調査の結果報告

皆様に満足していただける病院づくりを目指すため、患者様およびご家族の方を対象とした満足度調査を実施させていただきました。調査にご協力していただいた皆様におかれましては、大変貴重なご意見・ご要望をたくさんいただき、誠にありがとうございました。この調査結果を全職員が真摯に受け止め、今後皆様にご満足いただけるような病院づくりを目指し努力してまいります。

つきましては、下記のとおり調査結果をご報告させていただきます。

調査の概要

《調査目的》 患者様およびご家族の方へのサービス向上を目指すため満足度調査を行う

《調査方法》 対 象 者：福井県立すこやかシルバー病院に通院・入院中の患者様とご家族

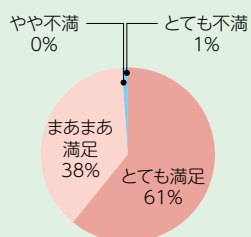
調査方法：当院で作成したアンケート用紙を対象者の方に手渡しで配布、
調査協力の得られた対象者から用紙を回収して項目ごとに分析

調査期間：平成30年9月1日～平成30年9月30日

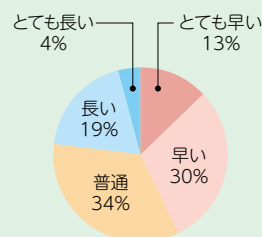
回 収 率：外来100% デイケア71.4% 入院37.2%

★外来に関する調査

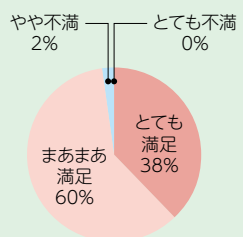
診察の満足度



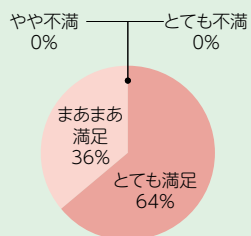
診察までの待ち時間



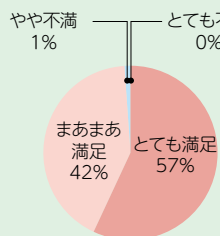
待合室の居心地



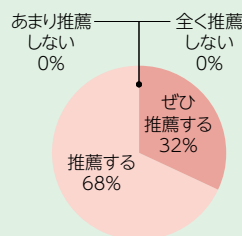
職員の言動や態度



病院内の清潔度

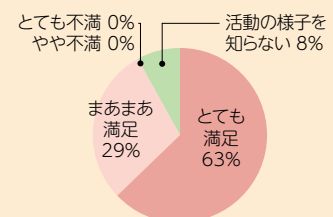


当院を他の方に紹介したいか

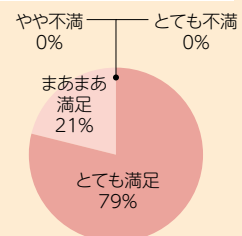


★デイケアに関する調査

活動内容

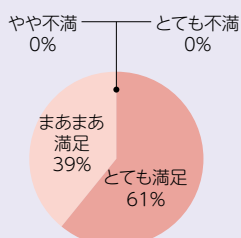


職員の言動や態度

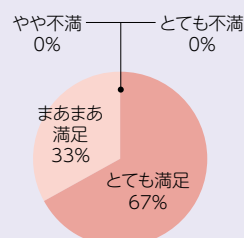


★入院に関する調査

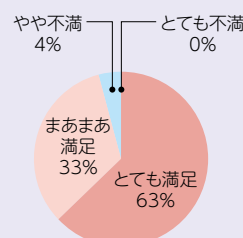
医師の説明



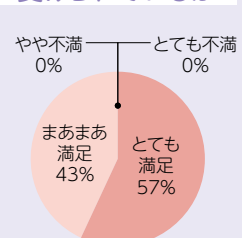
安心できる療養環境か



看護師・介護福祉士等の言動や態度



あなた(ご家族)が望んでいた治療を受けられているか



これは、アンケート結果の一部です。他の結果につきましては、エレベーター横の掲示板に貼り出してあります。
また、寄せられたご意見・ご要望についての回答は掲示板下のファイルに綴じてありますので、病院へお越しの際にご覧ください。

2019年度【6月～8月】 福井県立すこやかシルバー病院研修案内

参加費
無料

一般の方を対象にした研修 研修場所／福井県立すこやかシルバー病院 2階会議室
一般研修はお電話でお申込みできます。お名前（フルネーム、漢字）、連絡先、参加希望研修名をお伝えください。

研修名	開催日	研修時間	主な研修内容	講師	定員
認知症の基礎知識と対応のポイント	6月4日(火)	13時30分～15時	●認知症の症状 ●認知症高齢者の対応のポイント	藤田貴子看護師	50名
高齢者の口腔ケア	6月7日(金)	13時30分～15時	●口腔ケアの重要性について ●口腔ケア物品の紹介 ●口腔ケア時の介護のポイント	福井県歯科医師会 歯科衛生士 宮本美紀子氏	50名
認知症に関する制度と相談窓口	7月5日(金)	13時30分～15時	●介護保険制度について ●困った時の相談窓口	山下寛子精神保健福祉士	50名
心も体も元気に健康に ～認知症の理解、予防、支援～	8月7日(水)	13時30分～15時	●認知症の危険因子 ●脳を鍛える対策 ●心と体を元気にする活動、実演	松間香織作業療法士	50名
認知症高齢者の排泄援助	8月9日(金)	13時30分～15時	●排泄時に援助を要する状況 ●排泄時の介護のポイント	辻真彰副看護師長	50名

参加費
無料

ケア専門職の方を対象にした研修 研修場所／福井県立すこやかシルバー病院 2階会議室
専門職研修の申込方法は、当院ホームページ「介護教育のご案内」をご参照のうえお申込みください。
定員を超える研修が多いため、当院ホームページで申し込み状況をご確認ください。

研修名	開催日	研修時間	主な研修内容	講師	定員
認知症介護家族に対する援助	6月5日(水)	13時30分～16時30分	●在宅介護を継続するための介護家族へのアプローチ、認知症高齢者介護家族の身体的、精神的負担軽減のための支援	一般財団法人 仁明会 精神衛生研究所 副所長 大塚恒子氏	70名
初心者向け研修 (認知症の基礎知識)	6月14日(金)	13時30分～16時40分	●認知症の基礎知識、ケアの理解 ●事例検討	和田博之 認知症看護認定看護師	60名
眠れない方のケア	6月19日(水)	14時～17時	●睡眠障害の種類、睡眠のメカニズム、眠れない方へのケア	福井県立病院 精神看護専門看護師 山口達也氏	70名
認知症の人を知るための情報収集	6月21日(金)	13時30分～16時30分	●本人がどんな支援を求めているのか ●本人の状態悪化の要因、改善策を考える ●本人の暮らし、出来ること等を知る	岡本介護センター 代表 川本修次氏	70名
介入者の表情が 認知症高齢者に与える影響	6月24日(月)	13時30分～16時30分	●認知症の方に対し笑顔で関わることの重要性について	佛教大学保健医療技術学部 准教授 白井はる奈氏	60名
レビー小体型認知症の人の支援 ～レビー小体型認知症の人の 語りを通して見えてきたもの～	6月28日(金)	13時30分～16時30分	●レビー小体型認知症のある高齢者が 語った生活上の困難な体験、思い	田園学園女子大学人間健康学部 講師 加藤泰子氏	70名
暴言・暴力のある 認知症高齢者の方への対応 (2日間の研修)	7月3日(水) 7月4日(木)	14時30分～17時30分 10時～13時	●認知症の方の暴言・暴力に関する具体的 な対処法、適切な支援	日本て・あて推進協会 理事 水野陽子氏	70名
バリデーションへの誘い	7月8日(月)	13時30分～16時30分	●バリデーションを用いた認知症の人との コミュニケーション ●バリデーションを受けた認知症の人への効果	関西福祉科学大学社会福祉学部 教授 都村尚子氏	70名
認知症と類似した 疾患の区別と対応方法	7月10日(水)	13時30分～16時30分	●せん妄、高齢の統合失調症、高齢期うつ 病、高齢期神経症と認知症の類似点・相 違点、ケアの方法	一般財団法人 仁明会 精神衛生研究所 副所長 大塚恒子氏	70名
重度認知症の方の作業療法	7月12日(金)	13時30分～16時30分	●重度認知症の方の作業療法の意義 ●重度認知症の方の作業療法の実践と効果	大和大学保健医療学部 講師 澤賢一郎氏	70名
認知症の方のリハビリテーション	7月25日(木)	13時30分～16時30分	●認知症の方に対するリハビリテーショ ン介入の効果、実例	群馬大学大学院保健学研究科 准教授 山上徹也氏	70名
認知症の方とのコミュニケーション	7月26日(金)	13時30分～16時	●認知症の方の特徴、心理状態 ●認知症の方とのコミュニケーションのポイント	金城大学看護学部 講師 久米真代氏	70名
認知症高齢者ケア(アセスメント)	8月2日(金)	14時～16時30分	●BPSDの原因を探るため、身体的要因、 社会心理的要因、中核症状の状況、周囲の 環境等、アセスメントの視点について	荒井岐枝 認知症看護認定看護師	60名
せん妄の方のケア	8月21日(水)	14時～17時	●せん妄の症状、要因、ケア	福井県立病院 精神看護専門看護師 山口達也氏	70名
認知症の方の身体拘束を 避けるケアの工夫	8月30日(金)	13時30分～16時30分	●身体拘束にあたる行為 ●身体拘束を回避するためのリスクマネ ジメント、ケア	一般財団法人 仁明会 精神衛生研究所 副所長 大塚恒子氏	70名

9月以降の研修については、リニューアルライフすこやか夏号に掲載予定です。

お問合せ／福井県立すこやかシルバー病院 介護教育部 TEL (0776) 98-2700